

臨床薬理センター

1. スタッフ（2019年4月1日現在）

センター長（兼）教 授 今井 靖
 室 長 教 授 今井 靖
 医 員（兼）学内准教授 相澤 健一
 准 教 授 星出 聡
 助 教 今井 利美

2. 臨床薬理センターの特徴

臨床薬理センター薬物治療支援室は平成13年4月から専任医員1名および兼任医員4名（医学部薬理学講座臨床薬理学部門）で活動を開始し、臨床薬理学的知識に基づいた適正な薬物療法について臨床各科からのコンサルテーションを受け、これに対し助言・支援を行っている。主な内容は以下のものである。

- 1) 臓器移植後の免疫抑制薬に関する治療薬物モニタリング（TDM）および内科診療科横断的な助言・支援
- 2) 妊婦・授乳婦に対する薬物療法の提供
- 3) 薬を使用した臨床研究計画申請書の事前審査
- 4) 治験申請案件の事前審査
- 5) 院内・外注検査で実施出来ない薬物に関する薬物濃度測定・動態評価
- 6) 薬事審査および未承認・適応外医薬品を用いる診療に関する倫理審査・助言

施設認定

臨床薬理学講座として日本臨床薬理学会専門医制度研修施設が認定されている

認定医・認定薬剤師

日本内科学会総合内科専門医
 今井 靖、星出 聡、今井 利美 3名
 日本内科学会認定内科医
 今井 靖、相澤 健一
 星出 聡、今井 利美 4名
 日本循環器学会循環器専門医
 今井 靖、星出 聡 2名
 日本腎臓学会腎臓専門医 今井 利美
 日本透析医学会透析専門医 今井 利美
 日本不整脈心電学会不整脈専門医 今井 靖
 日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医 今井 靖
 日本成人先天性心疾患学会暫定認定医 今井 靖

3. 実績・クリニカルインディケーター

- 1) 臓器移植後の免疫抑制薬に関するTDM
 生体肝移植患者に対する免疫抑制薬のTDMコンサル

テーション、また臓器障害合併例についての内科的管理について助言を行った 20症例（入院前から退院まで入院期間を通してフォローアップを実施）

- 2) 妊婦・授乳婦に対する薬物情報の提供
 産婦人科および精神科からの妊産婦・授乳婦へのコンサルテーションに助言を行った 23症例 61薬
- 3) 薬を用いた臨床研究計画書申請の事前審査
 附属病院研究倫理審査委員会申請書のうち、薬物に関連する臨床研究申請書の事前審査を実施した 0件
- 4) 治験申請案件の事前審査
 本院で行われる治験のヒアリングに参加し臨床薬理学的立場から治験依頼者に対する質問等を行った プロトコール34件
- 5) 診療部門からの薬物血中濃度測定・薬物動態に関する相談を受け入れており、本年度は胎児に感染が波及しうる感染症妊婦に対する抗生剤治療において、妊婦および娩出された児（実際には児由来組織である胎盤から）から採血を行い、母子ともに適正な抗生剤濃度がなされていることを臨床薬理学部門のTOF-MS/LC-MSを活用し濃度測定を実施、その結果を診療科に還元することが出来た。
- 6) 薬事委員会の運営・開催および限定採用薬の採否の判断・助言、および適応外・未承認薬に関わる診療行為についての倫理審査への参画と支援を行った。

4. 2019年の目標・事業計画等

院内の薬物療法の適正化のために適切な助言を行うとともに診療科横断的な薬物療法支援を実施する。また適切な薬物療法に関する初期研修医・若手医師向けの教育プログラム構築に取り組むとともに、入院症例のみならず外来診療における臨床薬理に関するコンサルテーション体制を強化する。加えて通常診療では測定が困難な薬物についても必要時には臨床薬理センターにおいてその濃度分析などを行うことでの確な薬物療法を支援出来るように体制強化に努めたい。